

産業廃棄物処理計画書

2023年6月30日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市江南区二本木4丁目12番8号

氏名 山崎製パン株式会社 新潟工場
工場長 道法 正嗣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-382-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社 新潟工場
事業場の所在地	新潟県新潟市江南区二本木4丁目12番8号
計画期間	2022年4月1日から 2023年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	140.21億円/年(2022年度 生産高)
③従業員数	965人(2022年5月末時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【有機性汚泥】 生産ライン及び、番重の洗浄排水を処理場にて処理 →処理水は下水道へ放流。余剰汚泥は脱水機にかけ、処理業者へ委託→発酵・乾燥後、肥料として再利用</p> <p>【廃プラスチック(鉄付き)】 事業場各所から発生した鉄付きの廃プラスチック類を廃棄→処理業者へ委託→破碎後、埋立</p> <p>【廃プラスチック(食残付き)】 生産ラインより、食物残さ付きの不良包材・ケース等を廃棄→処理業者へ委託→焼却処理</p> <p>【動植物性残さ(バナナの皮)】 生産ラインより、バナナの皮を廃棄→再生処理業者へ委託→乾燥後、肥料として再利用。また、醗酵ガスにより発電</p> <p>【動植物性残さ(油脂・フィリング)】 生産ラインより、餡・クリーム・ジャム等の油脂・フィリング類を廃棄→再生処理業者へ委託 →乾燥後、肥料として再利用</p> <p>【ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず】 事業場各所から発生したガラスくず等を廃棄→処理業者へ委託→破碎後、埋立</p> <p>【自動販売機】 各販売店の自動販売機を処理業者へ回収委託→破碎・圧縮・減容後、鉄類など各種原料として再利用</p> <p>【廃プラスチック(複合材)】 事業場各所から発生した不燃物を廃棄→処理業者へ委託→破碎後、埋立</p> <p>【廃プラスチック(蛍光灯)】 事業場各所から発生した蛍光灯を廃棄→処理業者へ委託→破碎後、埋立</p> <p>【廃乾電池】 事業場各所から発生した乾電池を廃棄→処理業者へ委託→破碎後、埋立</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙図—1に記載

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (2022 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フィリング) 鎌田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	排 出 量	64.76 t	1.98 t	820.32 t	17.89 t	144.87 t	10.66 t	3.89 t	42.18 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	排 出 量	0.06 t	0.12 t						

(これまでに実施した取組)

- ・製造部門に関しては、ライン別・製品別・部門別ロスの把握と、生産工程の見直しによるロス削減を実施している。
- ・毎月、各課参加の環境推進委員会を実施し、ゴミの分別や発生抑制を指導している。
- ・廃棄物実績管理表を作成し、日次・週次・月次・年次で管理することで発生量の削減を図っている。

【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フィリング) 鎌田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	排 出 量	62.00 t	1.80 t	780.00 t	17.00 t	138.00 t	10.00 t	3.70 t	40.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	排 出 量	0.05 t	0.11 t						

(今後実施する予定の計画)

排出量の多い廃棄物(動植物性残さ・廃プラスチック類・有機性汚泥)はそれぞれ5～15%の削減目標を立て、廃棄物の総合計量を前年比95%に抑えたい。また、弊社の各事業所の環境活動の好事例を取り入れ、県や市と情報共有しながら廃棄物の抑制に取り組んでいきたい。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	分別した産業廃棄物は、処理業者に全量適正な処理を依頼した。 有機性汚泥については、生産ラインでの動植物性残さの拭き取り処理に加え、発生した洗浄水をザル等に漉し、残さを回収している。また、排水処理場の流入水でもろ過を行い、残さの回収を実施している。

② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	ライン別・製品別の生産工程見直しによる管理を実施することで、廃棄物の排出抑制及び減量を図る。現状よりも細かく分別を行い、有価売却・再資源化を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度 (2022 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリガ) 練田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(これまでに実施した取組)									
全て処理業者へ委託し、【動植物性残さ】肥料として再利用。【有機性汚泥】乾燥処理後、肥料として再利用。【自動販売機】細分解し、鉄類など各種原料として再利用。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリガ) 練田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(今後実施する予定の計画)									
動植物性残さ・廃プラスチック類・有機性汚泥については、処理業者への有価売却や無償引渡しを行いたい。上記以外の廃棄物に関しても、引き続き業者へ委託し、再生資源として転用したい。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度 (2022 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリガ) 練田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
製造部門に関して、ライン工程の見直し等によるロス把握を行った。特に有機性汚泥については、動植物性残さの拭き取りを徹底させ、洗浄水の節水を実施した。その他の廃棄物に関しても、処理業者を通じて適正な処理を行った。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリガ) 練田養鶏	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
数値目標を定め、最終処分量の削減を図る。特に排出量の多い廃棄物については、更なる分別や、有価売却・無償引渡しへの移行を進めていく。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度 (2022 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリグ) 鶏田糞類	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(これまでに実施した取組)									
埋立処分または海洋投入処分について、これまでに実施した取り組みは無し。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリグ) 鶏田糞類	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
(今後実施する予定の計画)									
今年度実施する予定無し。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (2021 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フリグ) 鶏田糞類	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	全処理委託量	64.76 t	1.98 t	820.32 t	17.89 t	144.87 t	10.66 t	3.89 t	41.83 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	10.66 t	3.89 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	64.76 t	0.00 t	0.00 t	17.89 t	144.87 t	0.00 t	3.89 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	820.32 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	全処理委託量	0.06 t	0.12 t						
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック (複合材) として、これまでは廃棄していた弊社の番重 (プラスチック容器) をリサイクルして、再生原料化している。 ・廃プラスチック (食残付) として、これまでは焼却処理していた動植物性残さ (バナナの皮) を再生処理業者へ委託して、肥料として再利用したり、醗酵ガスによる発電を行なっている。 ・その他の産業廃棄物についても、処理業者に全量適正な処理を依頼した。 									

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック (鉄付)	廃プラスチック (植残付)	動植物性残さ (バナナの皮)	動植物性残さ (油脂・フケ等) 焼山廃棄物	ガラスくず	自動販売機	廃プラスチック (複合材)
	全処理委託量	62.00 t	1.80 t	780.00 t	17.00 t	138.00 t	10.00 t	3.70 t	40.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	10.00 t	3.70 t	0.00 t
	再生利用業者 への処理委託量	62.00 t	0.00 t	0.00 t	17.00 t	138.00 t	0.00 t	3.70 t	0.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	780.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (蛍光灯)	廃乾電池						
	全処理委託量	0.05 t	0.11 t						
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	再生利用業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	(今後実施する予定の取組)								
	<p>生産工程の見直しにより、発生要因の解消と排出量の削減を図りたい。 弊社における廃棄物の排出量合計は、2022年度が1,107 tであり、そのうち廃プラスチック(植残付)は820 t と、全体の74%を占めている。更なる分別の徹底を行い、有価売却量を増やしていきたい。また、その他の産業廃棄物に においても、有価売却・無償引渡しへの移行と再利用の拡大を図り、ゼロエミッションの継続に努めたい。</p>								
※事務処理欄									

備考

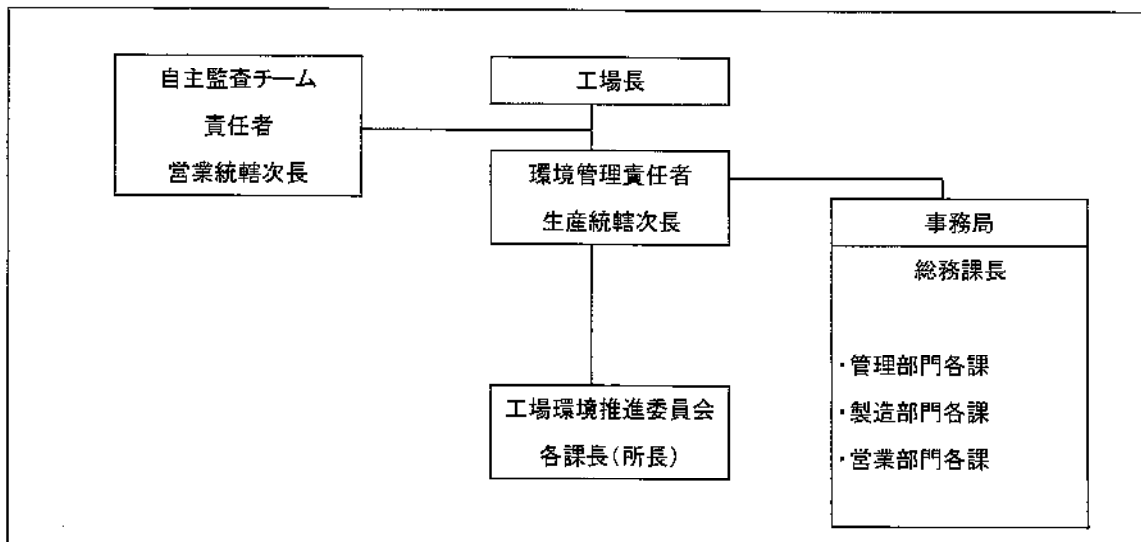
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙図一 1

責任者及び管理体制図

統括責任者		所属 :新潟工場	職:工場長
廃棄物担当		組織名 :総務課	職:課長
		組織人数 :5人	
役割	工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定、見直し ・工場環境目標の承認 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 	
	環境管理責任者 (生産統轄次長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システムの構築、実行、維持 ・工場長への環境推進委員会活動実績報告 ・環境マニュアル、規定、工場環境目標の審査並びに工場長への提案 	
	廃棄物管理 統括責任者 (総務課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理目標と環境方針策定 ・廃棄物処理計画の作成 ・環境方針の掲示並びに全従業員への教育と啓蒙、周知徹底 ・廃棄物処理業者・再生利用業者の調査選定及び管理 ・委託契約の締結 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付・管理 ・産業廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握 ・監督官庁への各種報告 ・その他関係する事項 	

《 工場環境推進委員会組織 》



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	山崎製パン株式会社 新潟工場工場長 道法 正剛	提出者の住所	新潟県新潟市江南区二本木4丁目12番8号
事業場の名称	山崎製パン株式会社 新潟工場	事業場の所在地	新潟県新潟市江南区二本木4丁目12番8号
内容年度	2022 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
汚泥	現状	64.76	0.00	0.00		0.00	64.76	0.00	64.76	0.00	0.00
	計画	62.00	0.00	0.00		0.00	62.00	0.00	62.00	0.00	0.00
廃プラスチック(鉄付)	現状	1.98	0.00	0.00		0.00	1.98	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	1.80	0.00	0.00		0.00	1.80	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック(糖残付)	現状	820.32	0.00	0.00		0.00	820.32	0.00	0.00	0.00	820.32
	計画	780.00	0.00	0.00		0.00	780.00	0.00	0.00	0.00	780.00
動植物性残さ (バナナの皮)	現状	17.89	0.00	0.00		0.00	17.89	0.00	17.89	0.00	0.00
	計画	17.00	0.00	0.00		0.00	17.00	0.00	17.00	0.00	0.00
動植物性残さ (除菌パック) 糖戻果物	現状	144.87	0.00	0.00		0.00	144.87	0.00	144.87	0.00	0.00
	計画	138.00	0.00	0.00		0.00	138.00	0.00	138.00	0.00	0.00
ガラスびん	現状	10.66	0.00	0.00		0.00	10.66	10.66	0.00	0.00	0.00
	計画	10.00	0.00	0.00		0.00	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00
自動販売機	現状	3.89	0.00	0.00		0.00	3.89	3.89	3.89	0.00	0.00
	計画	3.70	0.00	0.00		0.00	3.70	3.70	3.70	0.00	0.00
廃プラスチック(複合材)	現状	42.18	0.00	0.00		0.00	41.83	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	40.00	0.00	0.00		0.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック(蛍光灯)	現状	0.06	0.00	0.00		0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.06	0.00	0.00		0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
廃乾電池	現状	0.12	0.00	0.00		0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.11	0.00	0.00		0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状		0.00	0.00		0.00					
	計画		0.00	0.00		0.00					
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1,106.72					1,106.38	14.55	231.41		820.32
	計画	1,052.66					1,052.66	13.70	220.70		780.00